ロンドン大学衛生熱帯医学大学院
修士課程
朝倉利晃
2022年10月

ロータリー2510地区月例報告 Vol.2

地下深くに線路が走りロンドンの南北を繋げている地下鉄がピカデリーライン．少し狭苦しい車両に乗っていると，高齢のお婆さんが入ってくる．若い青年が無言で素早く立ち上がり席を譲る．遠くではおじいさんが乗ると中年の女性が座ってくださいと話しかける．席に座りはしゃいでいる子供を優しげに見守るお母さんに対しても，若い英国の女性は声をかけ座ってもらおうとする．高齢者，妊婦，子持ちの母親，怪我人などなど，これらの人が地下鉄で立っているところを見たことがない．一方，日本人は保守的なので基本的に電車の中でも動きたがらない人が多い．

始めの頃は英国の紳士的な精神・風土が席を譲る行為が文化としてあるのだと思っていたのだが，それだけではないと最近感じた．バスの乗車中，ベビーカー優先の位置に立っていたのだが，そこにベビーカーを押している母親が来た．恥ずかしながらぼーっとしていたために至近距離に来るまで気付かなかった．その時の母親の表情が，「この人なんでどかないの！？」というものだった．譲られる側も権利を主張していくことが大切なのだなと感じた．

そんな紳士的なイメージの英国だが，貧富の差は米国と同様に広がっており，英国での下位5%の収入はスロベニアの下位5%の収入を下回る．電車や路上でチップを乞う人もよく見る．通りすがりに声を掛けてきた人の話をよくよく聞いてみるとお金をくださいという内容だったことはよくある．僕が見た中では黒人の人はよく恵んであげている印象で，続いて他の人種の方々も結構な頻度でお金を恵んで上げる姿を目にする．コンビニの外で座り込んでいるホームレスの人に対して，スーパーの警備員がサンドイッチを上げている姿は印象的だった．これが意味するのは一定の割合でチップや心遣いを上げる人がいる寛容な社会であると同時に，そのような生活を強いられる人々がそこそこの数いる社会状況であるということだ．

10月は本格的に授業も始まった．日本の授業の雰囲気と一番違う点は学生のグループワークへの参加意識だ．グループワークの時間が始まったらみんな意見を出し合って，課題を進めて終わったら雑談をする．議論に対して抵抗がないのが特徴．時々，医学部生時代を思い返すが，僕を含めて医学生の授業への態度は本当に悪かったです，はい．LSHTMの学生は明確に学びに来ているという姿勢を感じられるし，かつ，楽しく学べる環境がある．

英国の大学の授業は，先生が多く知っていて，学生はあまり知らないので，先生が学生に知識を伝達するという垂直的な教育方針を取らない．知識というものは動的であり対話の中で徐々に変化し，それを積み上げていくという構成主義教育の方針を取っていく．だから，論文や本を読む課題の量がかなり多いのが特徴だ．学生は知識を詰めてきてから授業に挑み，それをグループワークの中で周りの意見と衝突させながら昇華させていくスタイルを取る．なので授業が物凄い詰まっているわけではないけど，なぜか大変という日本ではあまり遭遇しない状況になっている．

英語も慣れてきた．始まった当初はグループワークで会話が聞き取れなかったり，言いたいことがすぐにまとまらなかった．特に講義で先生の話は聞き取れるけど，英語が母国語の人同士の日時用会話が本当に聞き取れない．ようやく会話を聞き取れても，自分の言いたいことが即座に英語でまとまらず会話が進んでいくことがよくあった．自分の言いたいことを喋れない状況はストレスが貯まると痛感した．最初はこの状況に対して，周囲の人皆の出来ることを一人だけ出来ないという劣等感を持っていた．しかし，2, 3週間過ぎて気にしてたら生活出来ないと割り切って何事にも挑んでいくとすんなり上手くいく．おそらく英語力が劇的に向上したわけではないから，気持ちの持ちよう次第なんだなと思った．

最後はオックスフォードに日帰り旅行したお話．元々，オックスフォード，ブレナム宮殿を回るだけの予定だった．しかし，たまたまオックスフォード大学の知り合いがクライストチャーチのディナーに呼ばれ，そこに僕も同伴出来ることになった．クライストチャーチの食堂はハリーポッターで出てくる食堂のロケ地になった場所だ．知人の二人はどちらも優秀で，成績が良い人に授与されるローブをもらっていた．ありがたく僕もそのローブを着ることが出来て，ハリーポッターの世界感に浸ることが出来た．

世界遺産のブレナム宮殿も観光に行く価値あり．イギリスの貴族が住む宮殿の荘厳さを堪能することが出来る．ブレナム宮殿はウィストン・チャーチルが生まれた宮殿として有名だ．薄学ながら，チャーチルは第二次世界大戦に関する全6巻の大作を書き上げ，その功績を讃えられてノーベル文学賞を受賞していた，ということを初めて知りました．絵も書けて文武両道で多彩な才能の持ち主だと感じた．

写真1, 2. クライストチャーチの食堂